組合・主婦会、年頭の誓い

勝ち取ろう大幅賃上げ
結束する資本に対決

三池労組組合長　古賀春吉

新年を迎え、おめでとうございます。

昨年の総選挙では、皆さまの絶大なご協力を賜りありがたく感謝致します。

総選挙では自民党の地滑り的敗北によって、保革伯仲下の国政となりました。総選挙で示された国民の意思は、諸悪の根源である自民党一党独裁の政治に終止符をうち、革新政治を求めるものであった、と思われます。

本年は政界再編成への鼓動が、逐次高まりを見せることでしょう。

また、本年は六月末に参院選を迎えます。この選挙では、七党派というかってない多党派が、参院定席の半分の百二十六議席を争うことになります。

参院ではすでに保革伯仲の時代になっていますが、現情勢で推移すれば、来る参院選では保革逆転を実現しかねないと思われます。まさに参院選のなりゆきいかんによっては、自民党単独政権が名実ともに崩壊し、日本の政治は混迷した連合政権の時代へと歴史的な転換期を迎えることになりましょう。

私たちにとっては、一日も早く革新連合政権を樹立し、国民本位の政治が行なわれるよう、来る参院選についてもまた、最大の努力を集中して勝ち取ろうではありませんか。

また、荒尾市長選も間近に迫りました。私たちは永い間の念願である革新市政を、ぜひ今度は実現させるためみんなでがんばり抜き、門田候補の当選を勝ち取りましょう。

さて春を迎えますと、春闘ということになります。

七七国民春闘共闘会議は十二月十三日に行なわれ、七七春闘白書をまとめました。それによりますと「二年つづいた賃上げ闘争の不成功から、どのようにして抜けだすことができるかにある」として、春闘の「自己変革の初年度」と規定しています。

基本構想では、①賃上げ要求の基準は、最低一五パーセント程度②この要求を獲得する闘いの進め方は、三月下旬から四月初めにかけて回答日を集中的に指定する。これらの回答を踏まえながら、民間先行を基本にして、重化学工業の産業別・大産業別の闘争を全体とからませて組み立てて、ストライキを含む実力行使を集中的に組織し、賃上げ相場を押し上げる―ことを大きな柱としています。

七六春闘では、二〇パーセント（三万円）前後の賃上げ要求を掲げて闘いましたが、労働省の統計によると、官民平均で八・八パーセントのアップとなっています。政府・日経連のおさえこみが成功したのでした。

一五パーセントを額でみますと二万三～四千円くらいとなります。

炭労は三月八日の大会で要求書を決めることになっています。現在検討中であります。

一方情勢を見ますと、資本の側の春闘に対する結束はますます強化されており、とくに重化学工業を中心に巨大独占による協調的寡占体制のもとに、賃金抑制はいままでより一層きびしさを加えています。

さらに物価の面ですが、まず原油価格が一〇・三パーセントアップしました。六月さらに五パーセントアップします。

原油があがれば、電力・鉄鋼・石油化学製品の値上げ、となります。九月の消費者物価（東京）はいっきに二・八パーセント上昇し、狂乱期以来の大幅上昇をしています。

いま不況とインフレの共存というスタグフレーションのなかで勤労者階層は、苦しい生活をしいられています。本年の春闘は絶対に負けられない、大幅賃上げを勝ち取らねばなりません。

またCO・遺族の要求を掲げて対資本闘争を行なう年でもあります。

組合員・主婦会員の皆さん、新年を迎えて断固闘い抜く決意を固めようではありませんか。

資本主義的矛盾見きわめ
全国の仲間と闘おう

三池主婦会会長　島文枝

明けましておめでとうございます。

昨年のきびしかった一年間をふり返って見ますと、三木自民党内閣は、ロッキード事件に見られるようにふきだした資本主義の矛盾を解決するために、労働者や勤労国民の搾取を強めてきました。

その手はじめとして、昨年の一月早々酒・タバコ・郵便料金の値上げにはじまり、あらゆる公共料金に諸物価をつり上げ、年末の電信・電話料金値上げと、まさに一年間は物価値上げ攻撃に終始しました。

一方職場では不況・合理化攻撃の強まる中で、労働者の分断、まきこみ政策など、とくに弱い立場にあるパートや未組織の主婦労働者に集中、働いても働いても、生活と失業の不安、あるいは職業病や労働災害の不安はつきまとい、私たち主婦は二重三重の資本主義的搾取に苦しめられています。

こうした情勢の中で行なわれました年末の総選挙は、自民党政治の資本家優先、国民不在の政策が、労働者や勤労国民の反発を受けた結果、自民党の大きな敗退となりました。一応の成果といえますが、今日の苦しさをまだ資本主義の矛盾としてとらえることのできない弱さが、中間政党の進出に終ったことは、私たちの今後の運動が一層重大であることを痛感せざるを得ません。

ともあれ三池主婦会は、昨年も春闘や働く主婦の当面する問題、あるいは医療無料化や、相変らず続発する炭鉱災害の防止、保安を守らせる闘いなど、炭労や炭婦協をはじめ多くの婦人団体の仲間とともに、一生懸命に闘ってきたと思います。家庭を背負ったままでの共稼ぎの苦しみを克服しながら、仲間や家族同志が助け合い、暮らしと命を守る立場から、のことでした。

一九七七年は、資本主義の矛盾がもっと深まることでしょう。そのため独占資本と自民党政府は、利潤追求のために労働者や勤労国民に、あの手この手の攻撃を強めてくるでしょう。それは資本の強さでなくて、弱さの現われに過ぎません。

私たちは昨年六月十三日、三池労組結成三十周年と三池闘争十周年を記念して、労働者解放を目指し闘い続けてきた全国の諸先輩や、働く多くの仲間とともに、大変有意義な集会を開催しました。そして闘いの正しさを確認するとともに、「今後も資本や国家権力の弾圧に屈せず、家族ぐるみで闘い続ける」ことを、誓ったものです。

いまこそ私たちは、「未来は労働者のもの……」との信念で、新しい年もまた毅然として、くらしや命を守ること、そのほか日常生起してくる闘いを、全国の仲間と連帯を強化し、闘い続けることを、みんなで誓い合いたいと思います。

これまで、私たち三池主婦会の闘いに対し、ご支援、ご指導くださいました組合員みなさんをはじめ、全国の諸先輩や仲間のみなさんに、心からお礼申し上げると同時に、感謝の気持をこめて闘っていきたいと思います。

以上をもって、新年のごあいさつと致します。

退職の人びと

こんど、次の人びとが停年のため組合を離れられます。でも新しい年です。ともにがんばっていきましょう。なお停年の日付は、昨年の分です。

宮浦指導部関係

小田　進さん
停年の日　十一月十八日。
新住所　大牟田市新勝立町四丁目二十四棟。

大津　益幸さん
停年の日　十二月二日。
新住所　大牟田市歴木一三三六。

末吉　繁利さん
停年の日　十二月二十日。
新住所　大牟田市東萩尾町四三五の五四。
言葉「無事退職する事ができました。三十五年以降の闘いの中で喜びも苦しみも共に行動した事を教訓として、生かしていきたいと思います。頑張って下さい」

末吉さん

稲本　楠雄さん
停年の日　十二月二十一日。
新住所　大牟田市新勝立町四丁目一四の一二。

稲本さん

四山指導部関係

辻　昇さん
停年の日　十二月二日。
新住所　荒尾市宮内社宅六十四棟。
言葉「組合員主婦の皆さんお世話になりました。闘争に闘争をつづけたものの、千二百人の仲間を復帰させることができませんでしたが、三池の火は全国に広がっています。
どうか今後も頑張って下さい。私も頑張ります」

辻さん

三川指導部関係

長谷川順平さん
停年の日　十一月二十五日。
新住所　荒尾市緑ケ丘若葉町四十二棟。

程内　良子さん
停年の日　十二月二十日。
新住所　大牟田市明治町。

本所指導部関係

松島　清人さん
停年の日　十二月二十日。
新住所　玉名市山田。
言葉「無事停年を迎える事ができました。永い間有難うございました。今後のご活躍をお祈り致します」。

松島さん

深川　義明さん
停年の日　十一月二十二日。
新住所　大牟田市日井新町二丁目二〇。
言葉「米騒動から二年目、大正十年に生れ、学校で軍国主義教育を受け、昭和十四年入社。十七～二十年軍隊生活。終戦。ソ連抑留。労働者の国のあることを知る。
二十四年復員、復職。新憲法のもと、三池労組員になり退職。
闘いの中で資本主義の仕組、国家権力の性格、社会発展の法則、団結の意味を教えてくれました。私は停年になっても労働者です。今後共お願い致します」。

深川さん

港務指導部関係

下川　次作さん
停年の日　十二月九日。
新住所　荒尾市新大和区十三班四組。
言葉「何といっても三池闘争と三川鉱大変災は、永遠に忘れる事はできません。CO裁判の半ばで去る事は残念ですが、今後も皆様と一緒に闘う事を誓い、挨拶と致します」。

×

退職者の皆さん、おめでとうございます。ご自愛専一に。そして今後もいっしょにたたかいましょう。

下川さん

＜笑劇場＞
日本の黒幕

「小佐野はやっぱりアメリカから金を受け取ったらしいね」
「ああ、ついに強制捜査をクラッターね」
「それでもシラを切るつもりかな」
「ああ、そんなことオレの知らんコーチャンとね」
「しかし内心はまっ青だろ」
「いや、あの男は青くならないよ」
「じゃ、まっ赤になって怒ったか」
「赤くもならんね」
「じゃあ一体何色になるんだ」
「ロッ黄色、よ」

× ×